



岩崎みなこ (ネット・社民の会)

- 1.本格化する新庁舎建替について
- 2.身近で開かれた教育委員会とは
- 3.決算事業報告書記載の誤りについて

問 基本構想案では概算の建設費は123億だ。駅近機能を充実させ、現在地の本庁舎と連携するとしている。他方、相談機能の充実は欠かせないと思うところだが、この金額に、駅近機能充実分やそれに要するシステム、デジタル化の費用は含まれているか伺う。

答 含まれていないが、財政負担については基本計画以降、軽減の視点を持ちながら精査する。

問 教育委員会は給食の牛乳の選択制についての陳情を採択した。オンラインの配信をしていないため視聴がなかなかできなかった市民もいたと思う。子ども、保護者にとって身近な教育委員会にするためにも、検討してはどうか。

答 東京都や他市の状況を注視しながら検討する。

問 市民にも公表している決算事業報告書の誤記載について、市民から「市長は謝罪したのか」「市ホームページに謝罪文が載っているのか」と訊かれた。なぜ発覚後すぐに謝意を示さなかったのか。

答 再確認後、公式ホームページに掲載し説明する。



板橋 茂 (日本共産党)

「気候非常事態宣言」を発した
多摩市で取り組む環境対策

問 日本政府の地球温暖化対策についての見解を伺う。

答 国内にあるエネルギーにもっと目を向け、太陽光や地熱など、地産地消できる再生可能エネルギーを積極的に増やしていく必要があると考える。

問 多摩市のカーボンゼロに向けた取り組みの進捗状況を伺う。

答 2030年までをハーフに、2050年カーボンゼロを目標に省エネ・創エネの中・長期戦略を策定する。

問 自家消費型の省エネ先進都市をめざす方針だが、その展望はあるのか伺う。

答 太陽光発電を中心に蓄電技術を活用した自家消費型の地産地消の仕組みづくりは、国・都の補助制度のさらなる変更が想定され、市の支援もさらに見直しを図る。

問 使い捨てプラスチック削減の取り組み状況を伺う。

答 「多摩市プラスチック削減方針」を定め、周知・啓発、ペットボトルの水平リサイクルも4月から開始する。

問 自然豊かな生物多様性の環境保全の取り組みを伺う。

答 次期「多摩市みどりと環境基本計画」を策定中。



あらたに隆見 (公明党)

- 1.発達特性に寄添い個性活かせる街へ
- 2.障害や認知症になっても安心な街へ
- 3.もしもの時の準備と成年後見制度

問 発達特性のある方の就労支援について伺う。

答 「なちゅーる」において本人の能力や希望に合わせた就労先とのマッチング支援を行っている。

問 市役所庁舎の障害福祉の窓口を相談者のプライバシーが守れるように改善すべきではないか。

答 最優先にレイアウト等を検討していく。

問 精神的な不調の方を支える「心のサポーター養成」のモデル事業を多摩市でも行うべきではないか。

答 メンタルヘルスの理解促進において必要な事業と考える。今後の動向に注視していく。

問 いざという時のために後見人制度・居住先・相談先など事前検討の必要性を市民に啓発すべきではないか。

答 大事な取組みなので資料等を用いて啓発に努めていく。

問 一人ひとりにスポットを当て市民が安心してグローバル人生を送ってもらうための市長の決意を伺う。

答 あらゆる人が勇気をもって前へ進める、困ったときに頼りになる市役所になるように努めていく。

相手に寄り添う四つのステップ

① 心の不調に気付く

② 声を掛ける

③ 話を聴く

④ サポート手段を伝える・勧める



しのづか元 (壮士の会)

- 1.今後のまちづくりについて
- 2.今後の公共施設整備について

問 今後の人口減少社会を見据え、都市計画もメリハリをつけるべき。尾根幹線沿道土地利用については、産業の誘致や市内事業者の移転先としての土地利用も考えられるが、いかがか。

答 市内企業に継続的に活動していただくことや、雇用の継続という視点からも検討する。

問 地域密着型交通について、町田市のように、社会福祉法人など福祉との連携をすることで、費用をかけずに様々な取り組みが可能だと考えるが、いかがか。

答 運行主体が課題であるが、多摩市においても分野を横断して様々な主体に担ってもらえるよう取り組みを進める。

問 今後、大型公共施設の大規模改修や本庁舎の建替えなど、2026年度から2030年度にかけて集中することが予想される。財政面における慎重な検討と、着工時期の計画性が求められるが、市の対応はどうか。

答 改めて今後の施設の更新・改修のコストの見直しなどを踏まえた財政の推計に着手した。今後、進める際には、計画的に、かつ柔軟に対応していく。

